

小野谷機工の新商品

ロードサービスカー「Type-1N」

タイヤ回り整備機器大手の小野谷機工はこのほど、新型ロードサービスカー「Type-1N」を発売開始した。発電機とコンプレッサーの配置を90度変えメンテナンス性を向上。コンプレッサー出力を10馬力に上げ、エアドライアで乾燥エアを供給する。同社本社でお話を聞いた。

(木本)

新型ロードサービスカー「Type-1N」について解説してくれたのは、同社商品開発部・特機商品開発グループの中村大樹主任。

早速、ロードサービスカー製造現場に行き、デモカーを見せてもらう。出来立てほやほやの新商品はピンク色の塗装が目に見え、シャッキボックスは車体の左側にあり、アルミのシャッターを開けると、集中コントロール盤、発電機表示メーターおよびエア系統、自動充電機が整然と並んでいる。収納棚には、インパクトレンチ、工具なども収納

でき、タイヤレバー挿しもある。シャッキは手前側に入っている。「電気系統や空気圧はすべてこれで管理できます。作業者の操作しやすさを考え、レイアウトを見直しました。エア充填は2レインになっており、2本充填できるようなって「います」と中村さんは語る。

中村さんがコントロールパネルの電源を入れると、LED照明が点灯する。実際に明るく、庫内だけでなくサイドドア、リアドア、シャッキボックス内が点灯する。これなら夜間作業でも安心だ。タイヤ部分も照らすので側溝への落ち込みの危険もない。

シャッキは重量物なのでオプションで昇降装置を付けることが可能。作業後の収納もしやすく、作業者にとって助かる機能だ。

車体右側の大きな扉を開けると発電機とコンプレッサーが出てくる。「レイアウトを見



一括集中式のコントロールパネル

直し、90度移動しました。従来ですと点検作業やメンテナンス作業を、車内の狭い空間に入り込んで、障害物をよけながら行う必要がありました。ドレンコック装備でオイル交換、冷却水の交換など

冬場の凍り付きなどのトラブルを防止します。最近普及しており、TPMSも、エアに水分があると長くありませんので、その意味でも改良されており」と中村さんは語る。



扉を開けて簡単メンテナンス

もとはガスタンパー式になっており、開閉しなくても可能。パワーゲートまで移動させた後、積み下ろしは車体後部の裏側にボタンがあり、それで操作する。オプション品として、タイヤチェーンの横に折り畳み式のセーフティーケージ「RSC-01M」を組み合わせることも可能。簡単に組み立てられ、庫内にあるエア充填機「ACE-β01r」を取り付けることができる。最近増加傾向にある45サイズの幅広シングルタイヤにも対応している。

メンテナンスが楽に

10馬力、エアは全てドライ

がスムーズに行えます。扉を開けるだけで確認できるのだから作業者にとって大助かりである。「コンプレッサーはこれまでの標準だった7・5馬力を10馬力にアップし、必要なエアをすぐに取り出せるように改良しました。また、エアドライヤーを標準装備しました。エアタンクに入っているエアもドライです。全てのエア経路に乾燥エアを供給することで、タンクの中にドレンが溜まらず、

サイドドアは片開きタイプで車体左側が開く。エアリリーク式になっている。』もこの移動はチェンジャー手元のスイッチで行う。途中でロックをかけることもでき、タイヤ

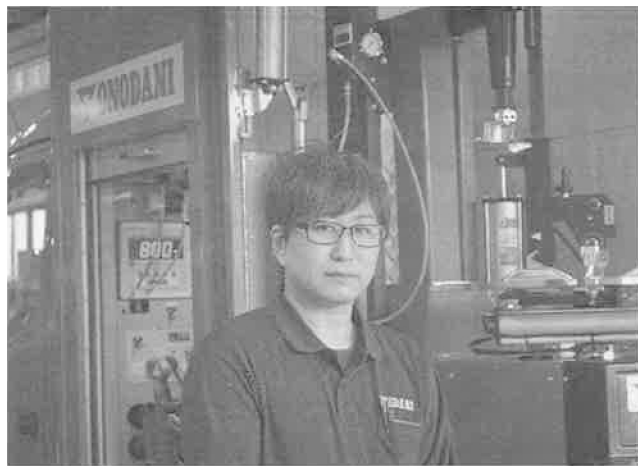
後方の車両などに作

こだわりの新機能を

安全用品一式や各種ツール置き、サーキュレーターなど目的に応じて自由な選択が可能、作業性向上にも貢献する。

満載した新商品「Ty

pe-1N」。作業性、メンテナンス性が向上し、現場の作業をグレードアップする。新たにロードサービスカー導入を検討している事業者に向け魅力的なモデルが登場した。問い合わせは同社本社(0778-22-2124)または各営業所まで。



開発者の同社商品開発部、中村大樹主任

シャッキは重量物なのでオプションで昇降装置を付けることが可能。作業後の収納もしやすく、作業者にとって助かる機能だ。

シャッキは重量物なのでオプションで昇降装置を付けることが可能。作業後の収納もしやすく、作業者にとって助かる機能だ。



チェンジャーと折りたたみ式ケージ

満載した新商品「Ty pe-1N」。作業性、メンテナンス性が向上し、現場の作業をグレードアップする。新たにロードサービスカー導入を検討している事業者に向け魅力的なモデルが登場した。問い合わせは同社本社(0778-22-2124)または各営業所まで。